

■食品などのアレルギーに関連して注意が必要な成分

- 卵や牛乳などに対するアレルギーをもっている人は、医薬品の成分に対しても注意が必要な場合があります。
- 薬を安全に、安心して使っていただくために、アレルギーの有無の確認は不可欠です。

成分の分類	成分名・薬効群	服用・使用してはいけない人	理由
抗炎症成分 (消炎酵素)	リゾチーム塩酸塩	鶏卵にアレルギーのある人	塩化リゾチームは、鶏卵の卵白から抽出した蛋白質⇒本成分の服用でも、重篤なアレルギー症状を起こすおそれ *2016年から外用薬にのみ配合
止瀉成分 (収斂成分)	タンニン酸アルブミン	牛乳にアレルギーのある人	タンニン酸アルブミン中のアルブミンは、牛乳に含まれる蛋白質(カゼイン)から得られたもの⇒本成分の服用でも、アレルギー症状(ショック、アナフィラキシー)を起こすおそれ。
殺菌消毒成分	ヨウ素系殺菌消毒成分:ポビドンヨード、ヨウ素、ヨウ化カリウム、ヨードチンキ等	ヨウ素にアレルギーのある人	外用薬として使用した場合でも、ショック(アナフィラキシー)、アナフィラキシー様症状のような全身性の重篤な副作用を生じることがある。
非ステロイド性抗炎症成分(外用消炎鎮痛成分)	ケトプロフェン	次の成分でアレルギー症状を起こしたことがある人 ・医療用医薬品成分:チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート・化粧品や医薬部外品の成分(紫外線吸収剤):オキシベンゾン	これらの物質とケトプロフェンは、分子構造が似ている⇒ケトプロフェンでもアレルギーを起こすおそれ(まれに重篤な副作用としてショック、アナフィラキシー様症状、喘息発作の誘発、接触皮膚炎、光線過敏症等をおこすことがある)。